

榊原病院

Monthly

Vol.61
2023.March

この病院で最も大切なひとは治療を受ける人である
The most important person in this hospital is the patient.

独立行政法人国立病院機構 榊原病院
National Hospital Organization SAKAKIBARA Hospital

院長

村田 昌彦(むらた まさひこ)

1962年生まれ
1991年富山医科薬科大学医学部卒
1996年同医学部大学院卒
2014年国立病院機構北陸病院精神科部長
2015年国立病院機構榊原病院副院長を経て、2018年国立病院機構榊原病院院長就任。
日本司法精神医学会理事。



診療科

- ・ 一般精神科
- ・ アルコール・薬物依存症
- 専門外来
- ・ こころのリスク外来

病床数 175床

- ・ 精神科病棟 157床
- ・ 医療観察法 18床
- ・ 強度行動障害ユニット

病院理念 この病院で最も大切なひとは治療を受ける人である

当院における「QC活動」法人本部表彰について

事務部長 中谷 晶光

国立病院機構では、グループ内の全国140病院のそれぞれで「QC活動」に取り組んでいます。「QC活動」とは、QC(Quality Control: 品質管理)を目的に、製造現場で始まった小集団活動ですが、医療の現場で起こる様々な課題にこの手法を取り入れて活動しています。

本活動は、年度当初に多職種で構成された複数のグループが、それぞれ「テーマ選定」を行い、概ね12月まで活動、2月頃に院内発表会を行っています。今回、当院で令和3年度に活動し、院内表彰した上位グループを法人本部に登録し、法人本部東海北陸グループからの「QC活動奨励表彰優秀賞」を受けたので紹介いたします。

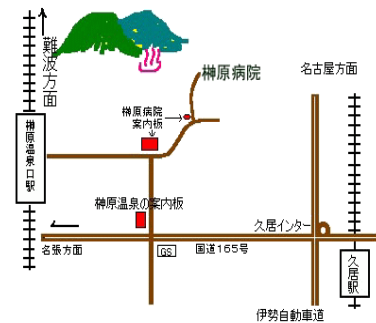
【チーム名「腸活(ちょうかつ)、グループ名「おなかトレーナー」】

活動内容は、当院で実施している「難治性統合失調症のクロザピン治療」を受けられている方には便秘が起りやすく、併せて、イレウス(腸閉塞)の出現率が高いことへの対策です。

QC手法である「手順1: テーマ選定」、「手順2: 活動計画の作成」、「手順3: 現状の把握と目標の設定」、「手順4: 要因の解析」、「手順5: 対策の検討と実施」、「手順6: 効果の確認」、「手順7: 標準化と管理の定着」により、計画的に令和3年4月から12月まで取り組みました。

具体的な活動は、患者さんご自身が講師となられる「便きょう会」や、平日に病棟廊下を30分間歩かれる「ウォーキングタイム」、「薬剤師との下剤調整」や「病棟カンファレンスへの栄養士の定期的な参加」、「平時のレントゲン検査」などです。この取り組みの結果、活動対象とした患者さんにおいて、イレウスを起こした方の出現頻度が下がるなど「腹部状態の維持」に一定の効果を確認できました。

QC活動の重要なポイント「手順7: 標準化と定着」を目指して、同チームは令和4年度も活動を続け「退院支援に向けた食事形態の改善」等にも取り組み、院内表彰を受けたところです。現在、令和5年度活動に向けた準備期間ですが、今後も病院全体で継続して取り組んでまいります。



電車・バス/ 近鉄久居駅下車 三交バス
(車庫前行き) 約30分
自動車/ 久居インターより約20分
マイクロバス/ 久居駅より直通バス(約25分)



地域医療連携室だより

〈医療福祉相談のご案内〉

経済的な心配、福祉サービスの利用、退院後の生活など病気によって生じた生活上の困り事について、精神保健福祉士がご相談に応じます。相談をご希望の方は、主治医、看護師及び医事受付まで申し出てください。

ゆうはあと訪問看護ステーション

令和元年6月に「ゆうはあと訪問看護ステーション」を開設しました。利用者様が地域で安心して暮らしていただけることを目標として訪問看護を提供しています。症状の観察や相談・お薬の管理・通院継続の支援・対人関係・コミュニケーションへの支援など、心身の回復のお手伝いを目的として行っています。

私たち「ゆうはあと」は、あなたの療養、そして暮らしを支えます。少しでも豊かに、少しずつ豊かになりますようにここで支えます。

治療抵抗性精神疾患への医療

〈クロザピンの治療状況〉

治療抵抗性統合失調症に対して、平成26年10月に1例目の投与を開始し、令和5年2月までに全症例は137例となりました。新規導入は1月1例、2月1例でした。順次投与を開始する予定です。クロザピン通院専門外来も開設しております。



認知症医療、こころのリスク外来

〈認知症医療〉

認知症の患者様は高齢であることから、様々な合併症をお持ちの方が多くおられます。また、アルコール問題の後に認知機能が低下することや、さらに身体疾患に併発した認知機能の障害は、若年の方にも見られます。

したがって、現在は80歳以上の超高齢の方と50～60代の若年の方に認知症が発症する傾向が多く見られます。身体的な問題については、法人内病院である三重中央医療センターと連携を図りながら、幻覚や妄想、不穏など認知症の周辺症状（BPSD）に対応しています。一般病院や介護施設において、BPSDの問題でお困りの場合はご相談ください。



〈こころのリスク外来〉

思春期・青年期はこころのリスク状態が高まり、さまざまなこころの病気を発症しやすいと言われています。当外来はこころのリスク状態を早期に発見・治療していくための専門外来ですので、お気軽にご相談ください。

デイ・ケア案内



デイケアは南2階で月、火、水、金の9:30から15:30まで昼食つきで活動しています。

3月に入り、気候がよくなりましたので、園芸や散歩のプログラムが増えました。3月後半になると、きっと榊原地域の桜も開花してくるだろうと、今から楽しみにしています。

デイケアを利用してくださる方は、1日あたり10人～20人です。みなさんと一緒にプログラムをすることは楽しいですし、それぞれの方がお気に入りの場所で読書などのお好きな活動をされている姿を見かけることも、うれしく思っています。最近人気があるプログラムはシャッフルボード、ボッチャ、レクリエーションゲームです。名前を紹介するだけではあまり伝わらないと思いますが、いずれも誰にでも取り組んでもらえるようなプログラムです。興味を持たれた方は、ぜひ一度見に来てください。



デイケアの花壇です



病院の隣にある金毘羅山に登りました

ホームページに「デイケアでの感染予防プログラムの学びと実践の取り組みについて」を掲載しています。

デイケア案内、プログラム表については、こちらをご覧ください。



栄養コラム



高血圧対策について③

再び高血圧についてはなしです。シリーズ①の補足ですが、カリウムは生の野菜や果物に多く含まれていると書きました。そのカリウムですが、水に溶けやすい性質があります。野菜をたくさん食べるには温野菜にするといいますが、実際は必要なカリウムは食事をするときに抜けてしまっている状態です。対策として水にさらすときは短時間にし、炒めるなど水に触れる時間を少なくすることが一番良いみたいです。冬では鍋料理が多くなり野菜を使いますが、それと同時に塩分をとるので悩ましいところです。もう一点、カリウムを摂るうえで気を付けていただきたいのが、腎機能が低下している方です。腎臓の働きが落ちてしまうと必要以上に体に溜まってしまい、かえって悪影響になります。次回、腎臓の働きについてお話します。